

パラリンピアン応援プロジェクト

【益田市立美都中学校】

ねらい

障がい者マラソンを理解し、共生社会の構築に向け、自分たちにできることを考え実践する態度を養う。

いつ

令和2年10月13日（火）

どこで

益田市立美都中学校 体育館

だれが

生徒（全校：27名）教職員（9名）

※ビデオレター…道下美里氏
[三井住友海上火災保険株式会社 所属]

なにを

- 動画メッセージを視聴する。
- 応援メッセージを考える。

概要

- ・障がい者マラソンランナーの道下美里さんからの動画メッセージを視聴し、動画に込められた思いや願いを受け止める。
- ・東京大会の応援旗を作成するため、道下さんへの応援メッセージを考える。
- ・今回の応援プロジェクトを通して東京大会への気運醸成を図るとともに、福祉教育の推進につなげる。



感謝を忘れず、夢に向かってほしい。



カーブがあります。(3,2,1,ハイ)



道下さんの言葉が心に響きました。



Never give up. / とても勇気づけられた。自分の目標に向かって頑張りたい。



学校全体で共生社会構築に向けた取組を進めている。今回は、リオデジャネイロパラリンピック女子マラソン銀メダリストの道下美里さんからのビデオレターによる交流を通し、道下さんの思いや願いを知り、自分たちに何ができるのかを考え、応援旗を作ることにした。3年生のリーダーが中心となり、障がい者マラソンがどのようなものであるのかデモンストレーションしたり、ビデオレターの感想を皆で共有したりして、道下さんへの応援メッセージを考えました。道下さんのアスリートとしての高い意識、そして常に明るく周囲を勇気づける人間的な魅力も知ることができた。